

旧 通信総合研究所

平成12年度(2001.1～2001.3)

1	6	中央省庁再編により郵政省が総務省に再編、郵政省通信総合研究所から総務省通信総合研究所へ
	31	日欧間で初の広帯域IPv6ネットワーク実験を実施
2		遠距離海洋レーダ開発用洋上観測プラットフォームが完成
3	31	短波の標準電波を全て廃止。標準電波は長波のみに。
		小型軽量のBSアナログ・デジタル放送波対応型家庭用テレビ映像伝送のミリ波帯小型計量システムを開発
		Kaバンドを用いた高速航空衛星通信実験に成功
		高密度波長多重(DWDM)ネットワーク用全光パケット交換実験に成功

平成13年度(2001.4～2002.3)

4	1	独立行政法人通信総合研究所が発足
	3	大型太陽フレア現象に伴う注意喚起情報を提供
	10	インターネット上での日本標準時提供実験を開始
		増幅限界周波数がほぼ400GHzの世界最高速HEMT(高電子移動度トランジスタ)の開発に成功
5		電磁波の安全評価を可能にする数値人体モデルを共同開発
	30	独立行政法人発足式典並びに研究本館竣工式典を開催
		フォトニック結晶を用いた、世界最小レーザの発振に成功
6	5	二枚貝の平滑筋のキャッチ収縮を世界で初めて再現、分子機構を解明、米国科学アカデミー紀要に掲載
	13	独立行政法人発足記念シンポジウムを開催
	23	世界最高速1Gbpsの実時間VLBI実験に成功
		ハイビジョンの4倍の画像処理技術を開発
		光符号分割多重方式による1.52Tbpsの伝送実験に成功
		ミリ波広帯域無線アクセスネットワーク(BRAIN)システムが民間標準規格(ARIB STD-T74)に採用
7	14	遠距離海洋レーダを開発、海流観測を開始
		CRL北九州宇宙通信局を開設
9	1-7	大規模災害者安否情報登録検索システム(大規模IAAシステム)を開発、試験運用を実施
	12	米国大規模同時多発テロに係るIAAシステムの運用を実施。
		光時分割多重／波長多重のハイブリッド階層化ネットワークを開発
10	1	はがね山標準電波送信所(60kHz)を運用開始
	11	機能性有機分子の選択的会合を固体表面上で制御することに成功、Nature誌に掲載
		472GHz世界最高速トランジスタの開発に成功
11	1	1個のイオンを用いた光電場の超精密観測に成功、Nature誌に掲載
		周波数利用効率1.6 bit/s/Hz、世界最高密度の光多重伝送に成功
		IPv6に対応した、市販PC上で動作可能な高品質映像・音声配信システムの開発、実用運用実験を開始
12		リハビリ・義足設計に応用可能な歩行シミュレーションシステムの開発に成功
3	25-	世界最先端の参加型自動放送システムパブリック・オピニオン・チャンネル(POC)を開発、実証実験を実施
	27	日韓衛星回線と地上光ファイバー網の相互接続による広帯域伝送実験に成功、三画面パノラマハイビジョン映像伝送デモンストレーションを実施
		沖縄偏波降雨レーダ(COBRA)完成。
		道路状況監視システムと協調した搭乗型移動端末の初期モデルを開発
		38GHz帯超高速無線アクセスシステムの長距離通信実験に成功

平成14年度(2002.4～2003.3)

4	14	沖縄亜熱帯計測センター恩納研究施設開設、記念式典を開催
6	24	成層圏滞空無人ソーラープレーンによる通信・放送実験を実施、世界初のデジタルハイビジョン放送実験に成功
7		100BASE-TX対応低コスト60GHz帯ワイヤレスリンクを開発
		光パケットスイッチプロトタイプを開発
		携帯情報端末(PDA)を用いた、移動中の聴覚障害者向け手話伝達システムを開発、国立民族学博物館で実証実験を実施
		産学官連携強化のため、「けいはんな」産学官連携オープンラボを設置
8		ページャを使った新たな地域情報配信システムを開発、小金井市で実証実験を実施
	27	被災者情報登録検索システムを普及発展させるための産学官連携組織「IAAAlliance」が発足
		「新世代モバイル研究開発プロジェクト」が発足
9		UWB研究開発プロジェクト」が開始
	4	偏波降雨レーダ(COBRA)を開発し、沖縄亜熱帯計測センターで観測を開始、台風16号の全形の観測に成功
10		抗脆弱性クラスタ技術実験システムを構築、ネットワークセキュリティ技術・評価実験を開始
	16	国際標準の科学インタフェースで電波望遠鏡を結合、フィンランドと日本でVLBI共同観測に成功
	31	CRLオープンラボ研究推進協議会(現けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会)設立
11		JGN回線を利用した、世界初の三画面パノラマハイビジョンのIPv6リアルタイム伝送を実現
12		大規模なサービス不能攻撃などが再現可能な、不正パケット模倣装置を開発
1	9-13	CATVネットワークによるIP電話の実用化を目指した実証実験を実施
	16	航空機搭載衛星通信システムを用いたりアルタイム広域被害状況把握システムの公開実験を実施
	31	周波数校正システムが国家計量標準機関としてASNITE-NMI認定
		無線で映像配信が可能な、ミリ波縦系配線システムの開発に成功
2		マイクロラボサット1号搭載Micro-OLiVeによる軌道上での画像取得に成功
	13	生体ナノマシン(ダイニン)の分子構造変化を世界で初めて解明、Nature誌に掲載
3		モバイル超伝導量子干渉素子(SQUID)脳磁界計測装置を開発
		新しい面型光スイッチを用いた超高速光信号のジッター・スキュー低減技術を開発
		38Gz帯ポイント・トゥ・ポイント方式の広帯域ミリ波加入者系無線アクセスシステムのテストベッドを構築

平成15年度(2003.4～2004.3)

4	1	計量法に基づく「特定標準器を用いた指定校正機関」として認定
		極域中高層大気に関する地球環境データの相互利用を目的としたデータネットワークシステム(SALMON)を整備、一般に公開
		タイにCRLアジア研究連携センター開設
		JGN回線を用いた、800万画素高精細カメラ映像のライブ伝送に成功
		カオス暗号チップを開発、デジタルハイビジョン映像のリアルタイム暗号化通信に世界で初めて成功
5	22	60GHz帯ファイバ無線光変調器の開発に成功
6		歩行者支援GIS(地理情報システム)として小金井バリアフリーマップを開発、Webに公開
7		CRLオープンラボ(現けいはんな情報通信オープンラボ)開所
		2GHz帯高温超伝導(HTS)フィルタを用いた、宇宙電波受信システムを開発
8		70GHz帯低コスト空間ダイバーシチ受信システム動作検証に成功
	1-2	日韓APIIテストベッドプロジェクトに基づく共同実証実験を実施
9	30	気球搭載の超伝導サブミリ波センサーによるオゾン層観測に世界で初めて成功
		Ultra Widebandに適した小型広帯域バンドパスフィルターの開発に世界で初めて成功

10	27	日本－インドネシア間でカオス暗号を用いた長距離衛星通信実験に成功
	30	大型太陽フレアに伴う磁気嵐の発生に関する注意喚起情報を提供
11	5	汎用PCを用いた民生用HDVカメラ映像のIP伝送システムを開発、日米間国際ブロードバンド回線にて伝送実験に成功
	21	「量子情報源符号化」の操作を世界で初めて実証、Physical Review Letters誌に掲載
		光通信波長帯(1.3ミクロン)量子ドットレーザの常温発振に世界で初めて成功
12	5-14	次世代高品質TVカメラによる屋外収録実証実験を実施、超高精細デジタルシネマ配信システムを用いてフランス映画祭に出展
	12	歩行者支援GIS(地理情報システム)として京都東山地区観光バリアフリーマップを開発し、Webに公開
1	1	情報セキュリティセンターを設置
	31	救急医療における高速画像伝送公開実験を実施
		光デバイス研究を産学官連携で推進する光デバイス技術センターが発足
2		超高密度波長多重システムで利用可能な光周波数基準発生装置の開発に成功
		60GHz帯622Mbps超高速アドホック無線アクセスシステムを開発
		TDMA方式デジタル移動通信システムの高速化を実現
		ギガビット通信が可能な広帯域ミリ波固定無線アクセスシステムを開発、横須賀市で大規模実証実験を実施
		太陽活動の自動検出・通報サービスを開始
3	2	EMC技術開発、各種試験・校正サービスを総合的に行う、電磁環境センターを設置
		光パケット通信の高速化を可能とする光FSK変調器を開発、OFCのポストデッドライン論文に採択
		C-MOS高周波集積回路によるUWB用送受信モジュールを開発、伝送特性評価に世界で初めて成功

旧 通信・放送機構

平成13年度(2001.4～2002.3)

4	放送衛星BSAT-2aの管制開始
7	民間基盤技術研究促進事業を開始
	基盤技術研究促進センターから国際研究ジャパントラスト事業を移管
8	電気通信基盤充実事業への支援に助成金交付を追加
11	通信・放送融合技術の開発に係る助成金交付事業及び開発システム整備事業を開始
12	通信・放送身体障害者利用円滑化事業(通信・放送役務提供事業)への支援に助成金交付を追加
3	衛星管制業務を終了

平成15年度(2003.4～2004.3)

4	基盤技術研究促進センターの出資・融資業務を承継
---	-------------------------